

# 県土整備部の職場紹介 No.11

## 港湾課

県土整備部は、「県民から信頼される県土づくり」を目指して、各室課がそれぞれの役割を果たしています。各室課が取り組む課題や業務を毎月ご紹介いたします。

### 組織の概要

岩手県内には、4つの重要港湾（久慈港、宮古港、釜石港、大船渡港）と2つの地方港湾（八木港、小本港）があります。港湾課では、港湾の適正な管理を行うとともに、海上の交通の発達と地域の振興に貢献することを目的として港湾の復旧・復興と機能回復に努めるとともに、港湾の利用促進を図り、物流活性化を推進しています。

### 港湾の適正な管理

海上輸送における適正な保安措置の確保に向け、必要なふ頭保安対応に取り組んでいます。

また、施設の維持管理計画を策定し、適正な管理に努めるとともに、県内港湾の危機管理や防災に努めています。



宮古港でのフェリー試験寄港

### 港湾の復旧・復興と機能回復

被災した防波堤、岸壁及びふ頭用地等の復旧・整備を推進し、東日本大震災津波で被災した港湾施設については概ね機能回復することができました。

また、県内荷主企業等の利便性向上や交流人口の増加など地域の振興を図るため、県内港湾の機能向上にも取り組んでおり、平成30年の宮古・室蘭フェリー定期航路開設に向けてフェリーターミナルなど必要な施設の整備に取り組むとともに、釜石港において、県内初となるガントリークレーンの導入に向けて岸壁の補強工事を行なうなど、港湾の機能向上に努めています。



ガントリークレーン

### 港湾の利活用の促進

平成28年度に港湾利用促進プランを策定・公表し、港湾の利活用の促進を図ることとしています。

港湾取扱貨物量の回復・拡大に向けて市町や荷役業者と連携したポートセールスを推進しています。首都圏の荷主企業などを対象に、東京でいわてポートセミナーの開催や久慈港、宮古港及び大船渡港における工業用地の売却に向けたポートセールスを実施しています。

また、これまでも国内クルーズ客船に県内港に入港していただいているところですが、大型外航クルーズ客船を誘致するため、航行安全調査の実施に取り組んでいるところです。



いわてポートセミナー